資料５

蒲郡市地域公共交通調査事業の状況について

受託者選定の実施状況について

１．受託者選定

・調査事業の業務受託者の選定方法として、プロポーザル方式を採用した。

平成２５年４月１６日（火）　蒲郡市入札参加資格名簿搭載者から近隣市町村を含む公共交通関連業務の実績を持つ事業者を抽出し、公共交通関連業務の実績及び専門性の有無を確認した上で、９者を選定しプロポーザルへの参加依頼を送付。

４月２２日（月）　参加依頼を行った９者全員より参加表明書の提出。

５月１７日（金）　参加表明のあった９者全員より企画提案書の提出。

５月２２日（水）　蒲郡市地域公共交通業務指名型プロポーザル実施要領に基づき、９者の企画提案書の採点を行い、５者を選定。

５月２４日（金）　蒲郡市地域公共交通調査業務提案者プレゼンテーション（受託者選定審査会）開催（５者）

【審査員：学識経験者１名、総代連合会長、蒲郡市総務部長、蒲郡市企画部長、蒲郡市市民福祉部長、蒲郡市建設部長、蒲郡市産業環境部長】

評価基準に基づく採点結果及び合議の結果、『三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社』を受託予定者として決定。

５月２８日（火）　参加者全員に結果通知を送付。

２．受託予定者

・事業社名　　三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社
・代表者　　　取締役社長　水野俊英
・所在地　　　名古屋市中区錦三丁目２０番２７号
・運営体制　　管理責任者　【研究開発部長】永柳　宏
　　　　　　　統括責任者　【主任研究員】　筒井　康史
　　　　　　　担当者　　　【副主任研究員】内田　克哉
　　　　　　　　　　　　　【研究員】　　　近藤洋平

調査内容について

１．地域公共交通の現状把握及び整理

（1）地域公共交通の現状把握及び整理

①　調査内容・方法

大項目	調査項目	調査方法・資料	狙い
地域構造	人口動向・高齢化・年代別・分布状況	国勢調査等から人口分布・将来の人口見通し等を確認	利用者の潜在量を把握
	人口流動	国勢調査から周辺との通勤・通学流動を確認	メインユーザーである通勤・通学流動を把握
	ＰＴ調査結果分析	中京圏ＰＴ調査結果を基に、発生集中量を確認	交通行動実態を把握
	地勢・高低差	ＧＩＳ・地図データを活用し、地勢・高低差等を確認	山間部エリアの抽出
交通インフラ	鉄道・路線バスのルート・圏域把握	鉄道駅から５００m、路線バス停留所から３００mでの圏域を確認	交通充足地域・空白地域を確認
	スクールバス、ふれあい入浴送迎バス等	市関係部局に確認し、その他の交通インフラ内容を把握	公共交通に関連するインフラを把握
	道路ネットワーク	既存の道路状況、都市計画道路状況を把握	今後整備される道路を確認
上位計画	総合計画、都市計画マスタープラン等の関連計画	市関係部局へ確認し、まちづくり・公共交通政策の方向性を把握	市街化を抑制する地域を確認
目的施設	病院、大規模商業施設、学校、公共施設等の分布	市関係部局へ確認し、主要施設の分布状況を把握	市民の生活行動の目的施設を抽出
観光動向	主要観光施設の分布、入込客数	観光レクリエーション統計等から入込客数、目的施設を把握	観光客の流動実態を把握

※　市民の交通行動については、市民アンケート調査にて対応

※　公共交通の経営実態・利用実態については、交通事業者へのヒアリング調査等にて対応

２．バス利用実態等調査の実施

（１）利用者実態調査

現状のサービス水準について、実際の利用者から意向を把握。

対象者	路線バス（西浦温泉前・病院循環、市民病院・丸山住宅、西浦温泉前・市民病院、保健医療センター・蒲郡駅前等）の利用者
調査方法	配布：路線バスに調査員が乗車し、利用者に直接配布 ※配布方法は、交通事業者と調整し決定。場合によっては、主要バス停での配布も検討。 回収：車両内での回収箱設置による回収、または郵送回収
配布回収	平日１～２日、休日１日の利用者を対象
主な設問	・ 利用目的（通勤通学、買い物、通院等）・利用頻度 ・ 利用区間（乗車、降車停留所）、出発地・最終目的地（よく訪れる施設） ・ 現行サービスに対する満足度、改善すべき点（要望） ・ 個人属性（居住地、年齢、性別、免許保有状況）

（２）交通事業者ヒアリング調査

支援者である交通事業者に対して、ヒアリング調査を行い、事業改善意見を確認する。

モード	鉄道	バス	タクシー
対象企業	名古屋鉄道	名鉄バス東部	豊鉄タクシー、かね一タクシー
方法	ヒアリング	ヒアリング	ヒアリング
主な聞き取り項目	駅別乗降客数の推移 西尾蒲郡線の営業係数（運賃収入･営業費用等） 公的支援（補助金等入学） 利用促進策	路線別利用実態（乗降密度） 路線別運送経費・運送収入 公的支援（補助金等入学） バス停別乗降客数の確認 事業改善見通し	利用実態 主な利用目的・利用者像 運賃収入・収支状況 タクシーチケット事業状況 乗合タクシー事業の可能性
狙い	改善事項の確認	事業改編・廃止見通しを確認	事業見通しを確認

（３）路線別評価の実施

名鉄バス東部に対するヒアリング調査を行い、路線系統別の収支状況を確認。

現在路線バスの維持に年間約３，７００万円の投入をしている。全市民あたり、約４６０円の負担により維持されている。ただし、系統別の収支状況は下記のように異なっている。路線系統別の沿線人口から、それぞれの路線系統毎の沿線市民の負担額を評価する。

○名鉄バス東部の路線別評価（赤字部分は市の負担金で対応）

系統名 （単位：円）	運送経費ａ	運送収入ｂ	収支 a-b	収支率 b/a	乗車密度
西浦温泉前・病院循環線	53,184,093	27,322,200	－25,861,893	51.4%	3.8
市民病院・丸山住宅	11,247,511	4,464,503	－6,783,008	39.7%	3.1
西浦温泉前・市民病院	4,400,987	2,273,424	－2,127,563	51.7%	2.4
保険医療センター・蒲郡駅前	217,816	191,757	－26,059	88.0%	3.5
小計	69,050,407	34,251,884	－34,798,523	49.6%	－

３．市民アンケート

（１）市民アンケート調査の内容・方法

現状の交通行動の実態を把握するとともに、現状のバス事業等に対する要望ニーズを把握。

交通行動は自家用車利用が圧倒的に多い一方で、要望ニーズはあればほしいというのが、一般的な傾向である。財政投入実態を明示し「財政投入の拡大（サービス強化）」をすべきか意見を確認する。

○市民アンケートの狙いとその内容

対象者	市民（住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収（自治会等の回覧を通した配布・回収も検討）
配布数・回収数	配布数：3,000 人（人口 80,252 人の 4%） 回収数：1,050 サンプル（回収率 35%想定　人口の 1%） ※家族のバス利用の可能性が高い 2 人まで回答してもらうように質問・調査票を配布し、生産年齢層の通勤通学、高齢層の通院利用など他者の交通行動も併せて回収・把握する。 2 通配布により約 2,000 サンプル（2%）の回収を見込む。
主な設問	別紙質問票を参照

※　設定根拠

信頼度 95%、誤差精度±3%、母比率 0.5%として想定した場合

必要サンプル数　n＝母集団 N／[（精度／信頼度）^{2}× {(N－1) ／母比率ρ（1－ρ)} ＋1]

＝80,252／［(3%誤差／1.96）^{2}× {80,252／（0.5・0.5)} ＋1]

1,053

４．事例調査

蒲郡市にとって参考となる取り組みを調査する。ポイントとしては、鉄道とバスの競合路線の見直し、交通空白地域における対応事例（ボランティア・タクシー事業）など、蒲郡市において導入がイメージされる事例を整理する。

区分	事例名称とその概要
鉄道・バスの調整	○明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会（恵那市・中津川市） 明知鉄道と路線バス（上矢作線）の重複状況を、路線バスの再編により見直し。鉄道を幹線、路線バスをフィーダー路線としてネットワークを再編した。
ネットワーク再編 交通空白対応	○下呂市公共交通確保維持改善協議会（下呂市） 地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用し「公共交通計画」を策定。鉄道・幹線バス・フィーダー路線（デマンドバス）等によるネットワークを再編。 山間部の交通空白地域におけるデマンドバス、乗合タクシー事業を構築中。
交通空白 ボランティア輸送	○過疎地有償運送 NPO がんばらまいか佐久間（浜松市） 山間部の交通空白地域における市民主体のボランティア輸送。NPO が主体となり交通事業者に運行委託する。浜松市が間接的に支援を行う。
観光資源活用	○南紀白浜温泉シャトルバス・草津町内温泉巡回バス等 白浜温泉旅館協同組合で無料送迎バスを共同運行化（温泉客のみ）。 群馬県草津町役場が事業主体で、温泉地・町内を巡回するコミュニティバスを構築。観光客も市民も利用できるワンコインバス。ボンネットバスを利用し趣きあり。

５．グループヒアリング調査

（１）市民向けグループヒアリング・ワークショップの内容・方法

狙い	市民アンケート調査を補完し、市民の具体的な意向をワークショップ形式にて意見集約することで、地域公共交通施策の方向性を導出する。
対象者	広報により市民を募集。参加意向の認められた市民を対象。 地域公共交通会議の地域市民・利用者の代表委員とその所属市民にも参加を要請。
実施方法 ヒアリング ワークショップ内容	（１） 広報や交通会議関係者により開催を周知し、市民の参加を募る。 （２） 参加者を１グループ５人程度に分かれてもらい、グループ単位で、グループヒアリングを行う。 ・ヒアリング内容：バス利用実態、バス事業に対する要望・改善すべき点など （３） コンサル社員がファシリテーターとなり、関係資料説明後、ワークショップを実施。下記内容について意見集約作業を行う。 ・財政投入を拡大すべきか、交通空白地域の対処をどうすべきか、名鉄西尾蒲郡線との重複バス路線を再編すべきか、といったテーマ別の意見交換を実施する。
実施場所・時間	・蒲郡東部・西部・中部の３箇所で開催 （都市計画マスタープランの地域区分を参照） ・土曜日曜休日昼間に開催

（２）市民団体ヒアリング調査の内容・方法

狙い	市民主導のボランティア輸送の実現性を模索するため、「担い手」候補となる市民団体の意向把握を行う。
対象者	市民まるごと赤い電車応援団等 地域公共交通の協力可能性のある市民団体・NPO（２～３団体）を対象
実施方法 ヒアリング項目	○代表者に個別ヒアリングを実施 ○主なヒアリング項目 ・参考事例を紹介した上で、市民が主体となったボランティア輸送の実施可能性がないか確認する。

（３）交通事業者ヒアリング調査の内容・方法

狙い	鉄道重複路線の見直し、北部山間地域対策など、具体的な交通問題に対する、交通事業者の対応意向を確認する。
対象者	名鉄バス東部、豊鉄・かね一タクシー
実施方法 ヒアリング項目	○前述の「バス利用実態等調査（交通事業者ヒアリング）」と併せてヒアリングを実施。 （参考事例を基にしたビジネスプランを紹介した上で実施） ○主な質問項目 名鉄バス東部：名鉄西尾蒲郡線重複路線の見直しの可能性 北部山間地域の交通空白地域でのデマンドバス運行の可能性　など タクシー　：北部山間地域の交通空白地域等での乗合タクシー事業の可能性　など

（4）観光等関係者ヒアリング等調査の内容・方法

狙い	温泉地と最寄り駅を結ぶ無料送迎バスが多数運行しており、市民利用・共同事業化・観光施設巡回バスの事業可能性を関係者と協議し、構築を目指す。
対象者	蒲郡・三谷・形原・西浦温泉協会理事
実施方法 ヒアリング内容	【1回目のグループヒアリング】 （1）　４つの温泉協会理事に集まっていただく （2）　コンサル会社から白浜・草津・下呂等の先行事例を紹介し、交通施策の対応の必要性を報告 （3）　グループヒアリングの実施 ＜ヒアリング内容＞ ・各温泉地での宿泊施設による送迎バスの運行状況 ・先行事例と同種の取組意向の確認 ・取組意向のある温泉地での会員向けアンケート調査協力の確認 【会員温泉施設での無料送迎バスの実施状況を確認するアンケート調査の実施】 ※関心のあった温泉協会の協力を受けて会員向けアンケート調査を実施 ・無料送迎バスの実施状況（送迎頻度、利用者数他） ・無料送迎バスの運営実態（車両保有者・更新時期、運転手、運行経費他） ・無料送迎バスの市民利用・共同事業化・観光施設巡回バスの事業化可能性を確認 【２回目の協議】 （1）関心のあった温泉協会のみ参集 （2）会員アンケート調査結果の確認 （3）共同バスの事業プランの協議

５．調査フロー及び予定時期

■実施方針：３つの主体における望ましい役割転換イメージ

これまで	
蒲郡市	財政投入による間接支援
市　民	有償利用者・要望者
関係者	事業主体

これから
調整役・公平性の担保者
責任者（利用・負担・意思決定・主体）
支援者（相談・運営等）

■現状調査（実態把握）

●統計・文献資料等による現地調査（６月～８月）

項目	調査内容
地域構造分析	人口分析、分布、流動、地勢、高低等
交通インフラ把握	路線バスのルート圏域、スクール、道路等
上位計画	総合計画、都市計画マスタープラン等
目的施設	病院、大規模商業、学校、公共施設等
観光動向等	温泉バス、主要観光施設、入込客数等

●バス利用実態等調査（6月～10月）

○交通事業者ヒアリング調査（１０月）
（鉄道、バス、タクシーへのヒアリング）

○利用者アンケート調査（６月～８月）
（路線バス利用者へのアンケート）

○路線別評価（１０月）
（ヒアリングを通して収支状況を確認）

現状調査を踏まえた課題整理

■地域公共交通調査

●市民アンケート調査（6月～8月）
・配布数　3,000件
（2通封入による2,000件回収を目指す）
・外出行動、財政投入の是非等の確認

●事例調査（9月）
・恵那市（鉄道競合路線の見直し）
・浜松市（がんばらまいか佐久間）
・下呂市（山間部の乗合タクシー事業）
・草津市（町内温泉地巡回バス）等

●市民･関係者等ワーキング（9月～11月）

○市民ワーキングショップ（公募市民）
・要望確認、財政投入の是非等の協議

○市民団体等ヒアリング（NPO等）
・責任者としての事業参画改善意見の確認

○交通事業者ヒアリング
・支援者としての事業改善意見の確認

○観光関係者ヒアリング（温泉協会等）
・温泉無料送迎バスの利用可能性の確認

■調査のとりまとめ

●調査のとりまとめ（11月～2月）
・交通弱者が安心して移動できる、地域で守り育てる交通体系の確立
・鉄道･バス･タクシーによるネットワーク構築
・持続性のある公共交通とするために、財政規律を維持する制度の

資料５－２

■市民アンケート調査の内容･方法

現状の交通行動の実態を把握するとともに、現状のバス事業等に対する要望ニーズを把握する。

交通行動は自家用車利用が圧倒的に多い一方で、要望ニーズはあれば欲しいというのが、一般的な傾向であるため、財政投入実態を明示し「財政投入の拡大（サービス強化)」をすべきか意見を確認する。

○市民アンケートの狙いとその内容（案）

対象者	市民（住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収 （自治会等の回覧を通した配布・回収も検討）
配布数 回収数	配布数：3,000 人（人口 80,252 人の 4%） 回収数：1,050 サンプル（回収率 35%想定　人口の 1%） ※家族のバス利用の可能性が高い２人まで回答してもらうように質問・調査票を配布し、生産年齢層の通勤通学、高齢層の通院利用など他者の交通行動も併せて回収・把握する。 2 通配布により約 2,000 サンプル（2%）の回収を見込む。
主な設問	※現状の財政投入をふまえ、今後の財政投入をどうすべきか（拡大・維持・縮小） ※財政投入規模をふまえ、現行のサービス水準をどうすべきか ・移動目的別（通勤通学、買い物、通院等）の主な利用交通手段 ・公共交通の利用頻度 ・現状の公共交通に対する要望（満足・不満足な点） ・よく訪れる施設と公共交通でのアクセス可能性 ・個人属性（住所、年齢、性別、免許保有状況）　その他自由回答
実施時期	８月頃

※設定根拠

信頼度 95%、誤差精度±3%、母比率 0.5 として想定した場合

必要サンプル数ｎ＝母集団Ｎ／［(精度／信頼度）^{2}×｛(Ｎ－１）／母比率ρ（１－ρ)｝＋１　］

＝80252／［(3%誤差／1.96）^{2}×｛80251／（0.5・0.5)｝＋１］

1,053

蒲郡市における公共交通に関するアンケート調査について
（ご協力のお願い）

皆様には、日ごろから市行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

蒲郡市は、名鉄蒲郡線や名鉄バス東部の運行に対する一部経費負担など、公共交通の維持に向けた対策を行っています。

今後、少子高齢化・人口減少が予測される中で、公共交通を将来にわたって維持していくためには、皆様のご利用と路線の効率的運営が不可欠です。

そのため、蒲郡市にお住まいの皆様の地域公共交通に対するご要望や、普段の交通行動実態等についてお伺いし、将来的な公共交通の検討に向けた基礎情報を得るためのアンケート調査を実施することといたしました。

ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成２５年●月　蒲郡市地域公共交通会議

回答にあたってのお願い

- 本調査は、蒲郡にお住まいの●歳以上の皆様から無作為に抽出した３,０００人の方々に対してお送りしております。なお、抽出データは平成２５年●月●日現在のものです。
- ご回答内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。
- 回答は、ご本人（あて名の方）がご記入ください。また、同封の調査票を活用いただき、ご家族の方の回答も併せてお願いします。
- 質問毎に、あてはまる番号に○印をつけるか、(　　)内に必要事項を直接ご記入ください。
- 記入後は、同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、**平成２５年●月●日（●）までに**ご投函ください。なお、市役所総務部安全安心課や庁舎１階の総合受付へお持ちいただいても結構です。
- この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

蒲郡市役所　総務部　安全安心課

〒443-8601　蒲郡市旭町 17-1

電話：（０５３３）６６－１１５６　　ＦＡＸ（０５３３）６６－１１８３

担当：足立

公共交通に関するアンケート　回答用紙

問1．はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。（1つに○）

性別は？	1: 男性　2: 女性
年齢は？	1: 20歳未満　2: 20歳代　3: 30歳代　4: 40歳代 5: 50歳代　6: 60歳代　7: 70歳代　8: 80歳以上
お住まいは？ 中学校区単位です。別紙の地図を参照ください。	1: 大塚　2: 三谷　3: 蒲郡　4: 中部 5: 塩津　6: 形原　7: 西浦
職業は？	1: 自営業　2: 会社員　3: 公務員 4: パート・アルバイト　5: 主夫・主婦　6: 学生 7: 無職　8: その他（＿＿＿＿＿＿）
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている　2: 持っていない
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車あり　2: 家族で共有 3: 持っていない
外出（通勤・通学含む）については？	1: 外出には困難を感じない　2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする　4: 外出は困難な状況である

問2．外出（通勤・通学含む）の頻度や目的についてお伺いします。

問2－1．あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。（1つに○）

1: ほぼ毎日　2: 週に３～４日　3: 週に１～２日　4: １ヶ月に数日
5: その他

問２－２．「通勤･通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前･場所、外出の時間帯を教えてください。
（「通勤」には、畑仕事を含みます）

	外出する頻度は？ （1 つに○をつけてください）	その時の「交通手段」は？ （該当するすべての番号に○をつけてください）
「通勤･通学」 の場合	1:　週に３日以上 2:　週に１～２日 3:　１ヶ月に数日 4:　年に数日 5:　ほとんど行かない （次の問へ）	1:　徒歩（車椅子含む） 2:　自転車 3:　自動二輪車（原付含む） 4:　タクシー 5:　自家用車 6:　路線バス（名鉄バス東部） 7:　鉄道 8:　その他（＿＿＿＿＿＿）
「買い物や 娯楽」 の場合	1:　週に３日以上 2:　週に１～２日 3:　１ヶ月に数日 4:　年に数日 5:　ほとんど行かない （次の問へ）	1:　徒歩（車椅子含む） 2:　自転車 3:　自動二輪車（原付含む） 4:　タクシー 5:　自家用車 6:　路線バス（名鉄バス東部） 7:　鉄道 8:　その他（＿＿＿＿＿＿）
「病院や 福祉施設」を 利用する場合	1:　週に３日以上 2:　週に１～２日 3:　１ヶ月に数日 4:　年に数日 5:　ほとんど行かない （次の問へ）	1:　徒歩（車椅子含む） 2:　自転車 3:　自動二輪車（原付含む） 4:　タクシー 5:　自家用車 6:　路線バス（名鉄バス東部） 7:　鉄道 8:　その他（＿＿＿＿＿＿）

「目的地」はどこですか？ 施設の名前・場所を教えてください		外出の「時間帯」は？	
施設の名前	**場所（小学校区）**	**出発の時間帯**	**帰宅の時間帯**
例：○○会社、○○高校、等 （＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	1:　大塚 2:　三谷 3:　蒲郡 4:　中部 5:　塩津 6:　形原 7:　西浦 8:　市外（＿＿＿＿＿）	1:　朝 6～9 時 2:　9～12 時 3:　12～15 時 4:　15～18 時 5:　18～21 時 6:　21 時～	1:　朝 6～9 時 2:　9～12 時 3:　12～15 時 4:　15～18 時 5:　18～21 時 6:　21 時～
例：商業施設（店舗名）、 図書館 等 （＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	1:　大塚 2:　三谷 3:　蒲郡 4:　中部 5:　塩津 6:　形原 7:　西浦 8:　市外（＿＿＿＿＿）	1:　朝 6～9 時 2:　9～12 時 3:　12～15 時 4:　15～18 時 5:　18～21 時 6:　21 時～	1:　朝 6～9 時 2:　9～12 時 3:　12～15 時 4:　15～18 時 5:　18～21 時 6:　21 時～
例：蒲郡市民病院、 老人福祉センター等 （＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	1:　大塚 2:　三谷 3:　蒲郡 4:　中部 5:　塩津 6:　形原 7:　西浦 8:　市外（＿＿＿＿＿）	1:　朝 6～9 時 2:　9～12 時 3:　12～15 時 4:　15～18 時 5:　18～21 時 6:　21 時～	1:　朝 6～9 時 2:　9～12 時 3:　12～15 時 4:　15～18 時 5:　18～21 時 6:　21 時～

※「施設の名前」について、具体名を記入することに支障がある場合は、「○○にある会社」、「○○にある病院」等、大まかな場所と目的をお答えください。

問３．公共交通に対する評価や利用状況等についてお伺いします。

問3－1．日常の移動に不便を感じていますか？（1つに○）

1: とても感じている　2: 感じている　3: あまり感じていない　4: 感じていない

→ 上記問3－1で、1･2 を選択した、不便に感じている人にお伺いします。
不便に感じる理由は何ですか？（３つまでに○）

1: 自宅から鉄道やバス停留所までが遠い
2: 利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない
3: 通常のタクシーが利用できるが、料金が高い
4: 家族等に送迎してもらう必要があり、家族等に遠慮がある
5: 介助や杖を必要とする・外出そのものが困難な状況である
6: 免許を持っているが、自由に使える車がない
7: 免許を持っているが、運転に不安がある
8: その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問3－2．公共交通（バス･タクシー等）が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、外出を控えたことがありますか？（1つに○）

1: よくある　2: たまにある　3: ない

問3－3．市内のバスの利用状況についてお伺いします。

⑴ あなたはバスをどの程度利用されますか？（1つに○）

1: 週に３日以上　2: 週に１～２日　3: １ヶ月に数日　4: 年に数日
5: ほとんど乗らない　・・・・・・（問３－４へ）

⑵ 主なバスの利用目的をお答えください。（２つまで○）

1: 通勤　2: 通学　3: 買い物　4: 塾・習い事　5: 趣味・娯楽
6: 通院　7: 福祉施設の利用　8: その他公共施設の利用
9: その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

⑶ よく利用されるバスは何ですか？　別紙のバス路線図を参考にお答えください。
（あてはまる<u>すべてに</u>○）

1:　名鉄バス東部　西浦温泉前・病院循環
2:　名鉄バス東部　西浦温泉前・市民病院
3:　名鉄バス東部　市民病院・丸山住宅
4:　名鉄バス東部　保健医療センター・蒲郡駅
5:　名鉄バス東部　ラグーナ蒲郡直行バス
6:　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問3－4．現状のバスのサービス水準（運行本数、ルート、車両等）について、
満足していますか？　（1つに○）
また、その満足・不満の理由をお答えください。

1:　満足　　2:　おおむね満足　　3:　やや不満　　4:　不満　　5：　わからない

満足な理由は？（2つまで○）

1:　目的地に行くのに便利
2:　自宅から停留所までが近い
3:　乗りたい時間に運行している
4:　運賃が安い
5:　バスが最も速い交通手段である
6:　バス以外に交通手段がない
7:　利用方法が簡単
8:　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

不満な理由は？（2つまで○）

1:　目的地に行くのに不便
2:　自宅から停留所までが遠い
3:　乗りたい時間に運行していない
4:　運賃が高い
5:　バスが最も速い交通手段ではない
6:　バス以外に交通手段がある
7:　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問4．蒲郡市の将来的な公共交通施策についてお伺いします。

蒲郡市では、民間の路線バスが確保されていますが、これらの路線の維持のために一部経費を負担（税金投入）しています。また、民間のバス事業者だけに頼ることはできず、「７０歳以上の住民に対してタクシーチケットの配布」などの市主導の事業も展開しています。

平成２３年度は、鉄道に約７,０００万円、名鉄バス東部に約３,７００万円、タクシーチケット事業に約１,３００万円、合計約１億２,０００万円の税金投入を行いました。

このままでは現状の公共交通を維持することは難しく、将来に向けて見直さなければなりません。

問4－1．年間1億円以上の税金を投入して、鉄道や民間路線バスを維持することは、妥当だと考えますか？（１つに○）

1: 妥当	2: おおむね妥当	3: やや不満	4: 不満	5：わからない

問4－2．年間約3,700万円の税金を投入して、「名鉄バス東部」を維持することは、妥当だと考えますか？（１つに○）

1: 妥当	2: おおむね妥当	3: やや不満	4: 不満	5：わからない

問4－3．今後の税金投入と路線バスのサービス水準（運賃設定や運行本数等）のあり方について、どのように考えますか？（１つに○）

1: 現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である
2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい
3: 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
4: サービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい
5: 利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）
6: その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
7: わからない

問4－4. 公共交通の維持のためには、たくさんの人が利用する必要があります。
あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？　（1つに○）

1:　既に公共交通が中心

2:　たまにならできると思う

3:　将来、年をとったらできると思う

※何歳になったら公共交通に転換しますか？

ｱ)　60歳　　ｲ)　70歳　　ｳ)　80歳　　ｴ)　90歳　　ｵ)　その他（　　　　歳）

4:　現状の仕組みではできない・かわらないと思う

問4－5. 利用者数の減少で現状のバス路線の維持が困難になってきた場合、
どのような対策が良いと考えますか？　（あてはまるものすべてに○）

1:　タクシーの基本料金を税金で負担するタクシーチケットの配付制度を維持拡充する

（※現在70歳以上の方に、年間100枚のタクシーチケットを配付しています）

2:　地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入する

3:　投入する税金を増やしてでも維持する

4:　個人の問題なので、家族・親類が助ければよく、行政は今以上の対応をすべきでない

5:　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問5．バスを「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※バスを利用する人（当てはまらない人）は、次の問６にお進みください。

問5－1　あなたのお住まいの近くにバス停留所がありますか。（1つに○）

1:　ある　　2:　自宅の近くにバス停留所はない　　3:　知らない・わからない

→ 上記問5－1で、1 を選択した、バス停留所がある人にお伺いします。
あなたが「バスを利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

1:　自分で車を運転できるから	2:　家族の人が車で送迎してくれるから
3:　バスの行き先が自分の希望通りでない	4:　バスの乗り心地が良くない
5:　始発バスの時間が遅い	6:　最終バスの時間が早い
7:　いろいろな所に立ち寄り時間がかかる	8:　運行本数が少ない
9:　バスの速度が遅い	10:　バスを乗り降りするのが負担
11:　時刻表やルートがよくわからない	12:　運賃が高い
13:　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）	

→ 上記問5－1で、2･3 を選択した、近くにバス停留所はない、知らない･わからない人にお伺いします。

①自宅近くにバス（路線）が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

1:　利用する
2:　ルートや便数などの条件があえば利用する
3:　利用しない
※利用しない理由は？　（問６へ）
ｱ)　自分で車を運転できる　　ｲ)　家族の人が車で送迎してくれる
ｳ)　徒歩や自転車がある　　ｴ)　その他（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

②利用する時の目的地はどこですか？
優先する場所を1つ選び名前を教えてください。（1つに○）

1:　駅・・・・・・駅名を教えてください（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2:　買い物・・・・商業施設の名前は？　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
3:　病院・・・・・病院名は？　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
4:　その他・・・・目的地の名前は？　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

③主に利用する時間帯を教えてください。（出発時・帰宅時それぞれ１つに○）

＜出発時＞

1:　朝 6～9 時	2:　9～12 時	3:　12～15 時
4:　15～18 時	5:　18～21 時	6:　21 時～

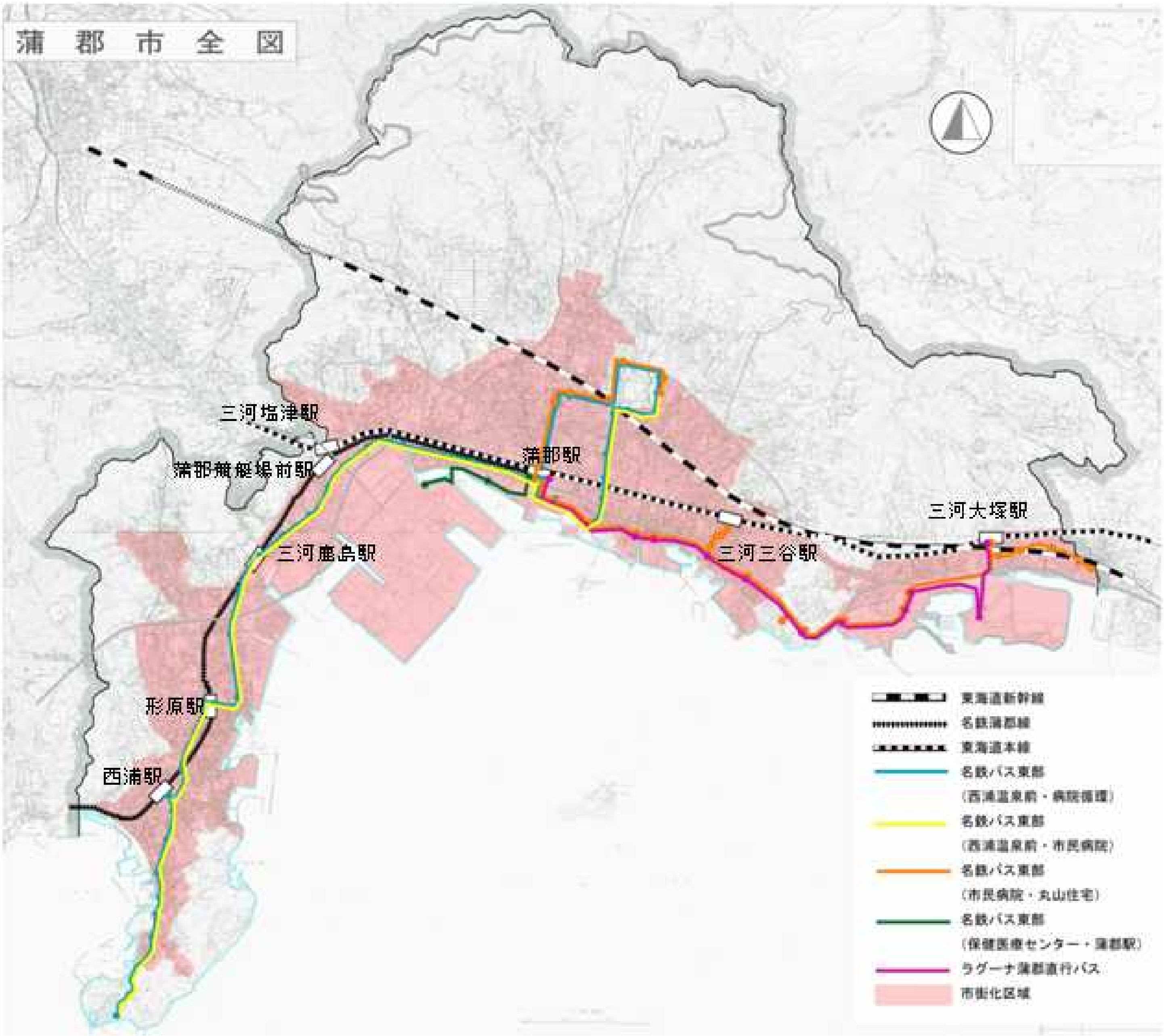
＜帰宅時＞

1:　朝 6～9 時	2:　9～12 時	3:　12～15 時
4:　15～18 時	5:　18～21 時	6:　21 時～

問 6．公共交通（バス等）への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、
平成 25 年●月●日（●）までに投函してください。

■蒲郡市のバス路線図



蒲郡市全図
三河塩津駅
蒲郡競艇場前駅
蒲郡駅
三河鹿島駅
三河三谷駅
三河大塚駅
形原駅
西浦駅
東海道新幹線
名鉄蒲郡線
東海道本線
名鉄バス東部
（西浦温泉前・病院循環）
名鉄バス東部
（西浦温泉前・市民病院）
名鉄バス東部
（市民病院・丸山住宅）
名鉄バス東部
（保健医療センター・蒲郡駅）
ラグーナ蒲郡直行バス
市街化区域